

## 解答（小論文国内 C）

オーバーツーリズムが地域社会にもたらす影響の一つとして、住民生活の質の低下が挙げられる。大量の観光客が特定の時間帯やエリアに集中すると、地域の収容能力を超えることで、交通渋滞や騒音、ごみ問題が深刻化し、日常生活に支障をきたす。さらに、住宅地への無秩序な立ち入りやマナー違反により、住民の安心感や地域への愛着が損なわれ、観光そのものに対する反感が生まれる恐れがある。これは、観光と共存すべき地域社会の持続可能性を脅かす重大な問題である。

このような影響への対策として重要なのは、訪問客数を適切に管理するしくみの導入である。例えば、入域制限や事前予約制の導入、混雑時間帯を避けた来訪を促す料金設定などにより、観光客の集中を緩和することができる。また、主要観光地だけでなく周辺地域や別の時間帯へ観光客を分散させることで、地域全体で負荷を分かち合う仕組みづくりも有効である。

加えて、住民参加型の観光まちづくりを進めることが不可欠だと考える。地域自治体や観光事業者とともに、住民の声を反映したルールづくりや情報発信を行うことで、観光と生活のバランスが保たれ、観光客にも地域への理解と配慮を促すことができる。オーバーツーリズム対策は単なる制限ではなく、地域資源を守りながら観光の質を高める取り組みであり、持続可能な観光地の実現につながると考える。